

NEWS RELEASE (2026年2月9日)取材依頼

学生が「鹿児島の灰カルチャー紹介冊子」を制作

火山灰が生んだ鹿児島の様々な魅力を学生目線で取材し紹介

報道機関 各位

平素より、大変お世話になっております。以下のとおり、学生の活動についてお知らせいたしますので、ぜひ取材くださいますようお願ひいたします。

【ポイント】

- ◆ 鹿児島ならではの「火山灰」をキーワードにした“灰カルチャー”紹介冊子
- ◆ アートや火山灰グッズなどを取材し、鹿児島の魅力を再発見できる内容に

【詳細】

鹿児島大学法文学部 地域社会コース 井原ゼミは、2025年度の活動として、鹿児島の“灰カルチャー”を紹介する紙媒体の冊子『Hi! Culture』(A5サイズ、20頁、800部)を制作しました。

桜島と灰の基礎から始まり、火山灰を活かしたアートやグッズ・特産品・観光・灰あるある・防災など鹿児島らしいトピックを取材し、“灰カルチャー”的魅力と可能性を紹介しています。冊子の主な特徴は以下のとおりです。

- ゼミ生が実際に桜島へ足を運び、現地での体験の中で触れた人々の声や想いをもとに作成。
- 冊子の構成はゼミ生が考え、仕上げはプロのデザイナーに依頼。各テーマの特性を活かしたメリハリのある構成を意識し、親しみやすさを表現。
- 冊子のイラスト(表紙とカット絵)は鹿児島県在住のイラストレーター大寺聰さんに依頼。表紙のイラストでは、冊子の内容をキャッチーなイラストで表現し、散りばめた。
- 鹿児島市の許可を得てマグマシティのシンボルマークを掲載。本冊子をシティプロモーションの一環として位置付けた。
- 冊子は鹿児島大学インフォメーションセンター、桜島港観光案内所ほかにて配布予定。

<冊子概要>サイズ: A5／中綴じ冊子印刷 20頁／800部

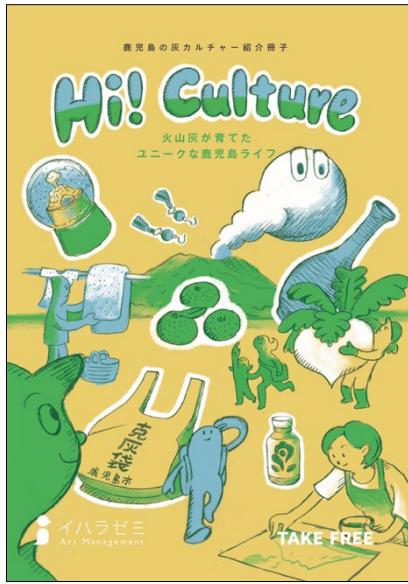
<ゼミ概要>鹿児島大学 法文学部 地域社会コース 井原ゼミは、アートマネジメントの手法を通じて地域活性化について学ぶ学生集団。

【指導教員】井原 慶一郎(法文学部教授、芸術文化デザイン論) 【ゼミ生】2年生…6名／3年生…8名

【お問い合わせ先】

法文学部 3年 四枝和樹(ヨツエダ カズキ)

(指導教員:法文学部教授 井原 慶一郎(イハラ ケイイチロウ) E-mail:ihara@leh.kagoshima-u.ac.jp)



冊子のイラスト(表紙とカット絵)は桜島・錦江湾ジオパークのロゴマークなどを手掛けるイラストレーターの大寺聰さんに依頼。



鹿児島市の許可を得てマグマシティのシンボルマークを掲載。本冊子をシティプロモーションの一環として位置づけた。

桜島と灰の概要、アート、グッズ、工芸品、農産物、観光スポット、灰あるある、防災など、鹿児島の「灰カルチャー」を8つの多角的な視点で紹介。



最終2頁には防災情報を載せ、将来起こるかもしれない大噴火への備えを呼びかけた。